

神奈川シニアクラブ フードバンク何ですか？ 活動内容の講演を受ける

神奈川シニアは、10月25日(金)第19回定期総会の開催前に学習会を開催。フードバンクかながわの藤田誠事務局長から70名の代議員がフードバンクと活動内容の講演を受けた。

「フードバンクかながわ」は、神奈川県労福協を中心に連合神奈川が後援して設立、県内の生活協同組合が協力して活動している。日本は世界第3位の経済大国でありながら、母子家庭の半数が貧困に苦しみ、その所得が平均年122万円程で生活はかなり苦しい。そこで、子供食堂や貧困家庭の希望者に食品を配布し、生活を援助するNPO活動が始まった。

捨てられる食品ロスは年約646万トン。この食品ロスの内352万トンは製造から小売りの間で発生し納品期限、販売期限、賞味期限の中で廃棄され産業廃棄物として処理すると、1トン当たり10万円の処理費が掛かる。

「フードバンクかながわ」は、「もったいない」「分かち合い」「ありがとう」をモットーに、食糧収集・配布を通じた生活困窮者への支援事業。食品ロス削減への啓発・政策活動事業、地域で活動する子供食堂や、貧困家庭への食料品配布の支援団体に食品提供を行っている。

藤田事務局長から集められた食品の仕分け作業に多くの人手が必要で、人海戦術で処理していることからボランティアへの参加をお願いされた。私たちJAM神奈川シニアも、食品収集活動や、集められた食品の仕分け作業にボランティアとして参加協力を各シニアクラブ会員に呼びかけることとした。

